



あゆみだより

8月8日、宮崎県沖を震源とする地震が発生し、初の南海トラフ地震臨時情報が出された。2時間の調査後、「巨大地震注意」が発表、とうとう南海トラフ地震が起きるのか？と冷や汗。落ち着かない1週間のお盆休みを経て、幸い何事もなく注意情報も解除された。初めてのことであり、テレビでは地震のニュース一色、水などの備蓄品購入による品薄が報じられていた。備えあれば憂いなし、やはり日頃の備えが大切。備蓄品の確保や防災訓練など、今後もしっかり取り組み、いつか起こるであろう災害に備えていきたい。

園長 鈴木

9月の予定

3日(火):保護者勉強会(OT)
5日(木):水泳療育、13:30 お帰り 6日(金):縁日ごっこ
9日(月)~13日(金):面接週間 ※リハビリありません
18日(水):ティータイム分離 19日(木):水泳療育
20日(金):秋の遠足 25日(水):誕生会
26日(木):水泳療育、第4月曜リハ
27日(金):交流保育

職員出張

11日(水):久保先生(新城) AM
20日(金):増井先生(新城) PM



9月から新しいおともだちが入園します。
なかよくしてね!
やまだ さち さん(ぞら組)

外来保育 A
10:30~11:30
5日(木) 12日(木) 17日(火) 26日(木)

外来保育 B
調整して連絡します

9月うまれのおともだち

10日 ちひろさん 3さい
17日 いとさん 2さい
おめでとうございます!



口腔ケアについて

「歯磨きをなかなかさせてくれない」「上の歯を磨くのを嫌がる」など「歯磨き」についての悩みをよく聞きます。本来「口腔ケア」とは、歯ブラシ等で口腔内を清潔にし虫歯や歯周病を防ぐ目的の「器質的ケア」と当園でやっている「お口の体操」などの「機能的ケア」を合わせて「口腔ケア」と言います。今回は「器質的ケア＝歯磨き」について書きたいと思います。

「下の歯より上の歯を嫌がる」という話をよく聞きます。摂食の勉強会の時に「上口唇をスプーンにつけることでセンサーの役割をし、その後の咀嚼や押しつぶしにつながる」「前歯でかじり取ることでやはりセンサーの役割をし、咀嚼につながる」「コップ飲みの際に上口唇をつけることで飲み物の温度を感じ取る重要な役割をしている」という話をしたと思います。つまり下の歯よりも上の歯、下口唇より上口唇の方が敏感にできています。また、奥歯よりも前歯の方が敏感な子が多いので、嫌がるお子さんはできるだけ下の歯から磨くようにしていくといいと思います。

仕上げ磨きを嫌がる子は一緒に歯ブラシを持つことで安心感を持ち、落ち着いて磨けることもあります。難しい場合は手や足に振動などの別の感覚を入れることで感覚を逃がし磨いてあげると受け入れられることがあります。お子さんが暴れると非利き手で強く押さえつけ、反対の利き手(歯ブラシを持っている手)にも力が入り、結果強く磨きすぎることでお子さんの拒否を強めてしまうことがあります。注意して磨きましょう。

動けるようになると口に歯ブラシをくわえたまま歩いたりハイハイしたりする子がいます。年間何例か重大な事故が起こっています。非常に危険ですので、自分で磨く時は座るなどして安定した姿勢で磨くようにしましょう。

姿勢が安定し、誤嚥の危険性が少ないお子さんは少しずつつうがいの練習をしていきましょう。まずはお口に水を入れ、出すところから始めます。コップに入れる水が少ないと、コップを大きく傾けないといけなないので顔が上がります。顔が上がると飲む動きと一緒にになってしまうので、コップのお水は多めにし、少しの傾きで口腔内に水を入れるようにします。出す時は前傾しなければなりません。おじぎの動きは難しい子が多いので後ろから介助して大人の胸のところでお子さんの背中を押しておじぎをサポートします。当園には子供の高さの洗面台がありますが、おうちにはないと思うので、お風呂場で練習するとよいです。

